

2018年度のしあわせ研究所活動

主任 渡部 博志



2016年7月に設立されましたMusashino University Creating Happiness Incubation（略称、しあわせ研究所）は、3年目を迎えました。昨年度は初めての試みが多く、ようやく組織としての活動が形作られてきました。今年度の活動については、4月に開催いたしました運営委員会にて、年間活動計画が諮られました。すでに活動を終えた内容もございますが、今年度の活動についてご紹介したいと思います。

しあわせ研究所の活動は、大きく分けて4つあります。

1つめは、学内外での研究所活動の展開です。その中には、公開シンポジウム、公開講座の開催、そして学内での授業の開講があります。

公開シンポジウムについては、9月19日（水）に、第3回となります国際シンポジウムを開催することが決まりました。大学のウェブサイト上でもご案内させていただいておりますが、Sustainable Tourism Generating Happiness - SDGs Perspectivesと題して有明キャンパスで開催いたします。なお、シンポジウムは全て英語で行います。

公開講座については、昨年度に引き続き本学の生涯学習講座にて実施いたします。

三鷹サテライトキャンパスでは、様々な学問分野からしあわせについて考える講座を10月以降毎月行います。また、千代田サテライトキャンパスでは、しあわせの法律学Part 2と題して2019年2月に3回講座が開かれます。

学内での授業は既に前期に開講済ですが、2年生以上を対象とした学部横断型の授業「しあわせを考える」で、所属学部の異なる6名の教員が各々の学問分野からしあわせについて考える授業を展開しました。

しあわせ研究所の活動の2つめは、活動結果の外部発信です。ご覧いただいている研究所通信や、学術雑誌としての紀要の発行を通じて、定期的に発信してまいります。

3つめは研究所活動の促進です。今年度は総額900万円の「しあわせ研究費」を、26の研究テーマに対し交付いたしました。

最後の4つめは、研究員の相互交流です。先日8月8日には、Happiness Meetingと称して、交流会を行いました。その中での研究発表セッションでは、今年度の「しあわせ研究費」交付テーマを中心にポスター形式での研究発表が行われ、それぞれが取り組んでいる内容について、至るところで他の研究員との意見交換がみられました。

その他、紙幅の関係上取り上げられなかった活動もありますが、今年度もしあわせ研究所の活動をしっかりと推進していきたいと考えております。みなさまの変わらぬご支援の程、何卒よろしく願いいたします。